

七月三十一日 つづき

十三時ギャラリー間・川越代表遠藤両氏来室。ギャラ間一〇〇回記念展のヴィデオインタビュー。ギャラリー間（TOTOTO）には度々お世話になっている。暑い。冷房完備の研究室にいても暑い。むしろ体感気温は冷房ナシの世田谷の方が低いぜ、これは。十四時半来客の後、十五時過より演習G。

八月一日

朝から風も無く蒸し暑い。余剰生産の現実に早く触れるにはどうしたらよいか。考えてみればありあまったオフィスビルの床を使いまわすというプロジェクトも一つの各論だな。

若い頃に興味を持った数々のバラック建築の中心はゴミだった。伴野一六郎は地球規模でのモノの循環を自然に表現していたのだ。余りにも多くの人間が生産する事、それを流通させる事に従事し過ぎていて。その事実に対面し、少しばかり理解の度合いを深めようとする。それを表現するにはどの様な方法があるだろうか。オープンテックハウス#5の実験を社会化する必要がある。その手順を考えてみる。

午後読売新聞、屋上菜園取材。

オープンテックハウス#5お母さんの家論、書き始める。

いかに地下と言えども冷房が無いので、暑さはこたえる。今日は今年最高の暑さであつたらしい。三七℃を記録したと新聞は

言う。この夏の暑さの不快さは少し変だ。

八月二日

朝八時地下へ。今日の暑さは昨日程ではないと天気予報は言うが最近の天気予報は地球規模での雲の有様、気圧配置等が解っている筈なのに大まか過ぎる様な気がする。地下南の壁を外す。少しでも風通しを良くしないと。ソーラーバッテリーの充足よりも南側地下へのアプローチの工事を先にやるべきだろうな。スロープにするか、カチツとした階段にするか、そろそろ決断しなくてはいけない。

十時前外出。電車内風景は完全に夏休みモードだ。